

リストNo		26-001	施設コード	40001		
利用用途別分類（施設分類）		下水道・農業集落排水				
施設名		中部浄化センター				
所在（町名・番地）		中央区瓜内町1825				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠（法）		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		浜松市中心地の中部処理区から流入する汚水及び雨水処理をすることにより市街地の浸水を防ぐ				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	20,897.49	土地情報	土地面積	95,370.81	
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	95,370.81	
	地上階数（主要建物）	3				
	耐震性能（Is値）（主要建物）	新				
	耐震工事（主要建物）	－		うち借地面積	0.00	
	建築年月日（主要建物）	2007/4/1				
	経過年数（主要建物）	17				
用途地域		準工業地域				
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		—	—		—	
財源	国・県	—	—		—	
	寄付金	—	—		—	
	その他	—	—		—	
	市債	—	—		—	
	一般財源	—	—		—	
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	10,120	216	121
	収入計(A)	10,120	216	121
支出(千円)	人件費	45,000	45,000	9,160
	物件費(委託料)	385,414	411,795	319,673
	維持補修費(修繕費)	202,927	202,927	321,310
	物件費(光熱水費)	22,382	22,349	22,417
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	655,723	682,071	672,560
行政コスト(B-A)		645,603	681,855	672,439
収支前年比		94.68	101.40	126.23
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	令和4年度 遠心脱水機修繕工事	49,500	2022	第2ポンプ場屋上防水改修工事	20,460
2023	令和4年度 機械濃縮設備修繕工事	27,011	2022	汚泥処理棟無停電電源装置修繕工事	11,880
2023	2号焼却炉修繕工事	82,256	2021	令和3年度 上下水道事業 改良第1号 中部浄化センター1号脱水機改良工事	6,551
2023	エアレーションタンク棟屋上防水改修工事	131,826	2021	中部浄化センター場内逆流管マンホール修繕工事	22,312
2023	ろ過機棟ろ過水量計修繕工事	4,840	2021	令和3年度 上下水道事業 修繕第1号 中部浄化センター汚泥処理棟汚泥脱水機改良工事	4,994
2022	汚泥処理棟2号濃縮汚泥貯留槽防食改良工事	41,969	2021	令和3年度 上下水道事業 改良第2号 中部浄化センター汚泥処理棟汚泥脱水機改良工事	37,912

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	26-005	南ポンプ場	—	1.4
	26-006	東雨水ポンプ場	—	1.8
その他の分類	13-015	法枝団地	地域	0.2
	15-098	江西中学校	生活	0.6
	08-004	江西保育園	生活	0.6
	03-080	江西会館	コミュニティ	0.8
	07-007	江西児童館	生活	0.8
	15-021	浅間小学校	生活	0.9
	13-020	春日団地改良住宅	地域	0.9
	03-047	白脇協働センター	生活	1.0



基本情報	リストNo	26-001	施設コード	40001	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課				
	施設名	中部浄化センター			施設	上下水道部下水道施設課					
	人員数	正規職員(人)	4	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	3			
	複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道									
	設置の妥当性	設置目的(再掲)									
		浜松市中心地の中部処理区から流入する汚水及び雨水処理をすることにより市街地の浸水を防ぐ									
		主な業務内容	下水及び発生汚泥の処理								
		主な利用者	—								
		設置目的の継続性・妥当性									
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないが、 中流域区域の流入量は減少しているが、近年のゲリラ豪雨や台風の大化に伴い、短時間での中流域区域流入量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。									
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測 ゲリラ豪雨への対応や、発生汚泥を有効利用し循環型社会に貢献する為にも、必要不可欠と思われる。									
		特記事項 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要である。									
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
									のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
		事業②	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—	
							2022	—	—	—	
							2021	—	—	—	
事業④		—					2023	—	—	—	
							2022	—	—	—	
					2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)											
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和41年の供用開始施設であり、施設全体が老朽化しており、更新時期に達している機器が多い。そのため今後も故障などが増える事が予想されるが、機器更新の際には、施設を運用しながらの施工になる為、その都度上流ポンプ場の送水制限などの大規模な養生が必要となる。									
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。									
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
		廃止	—	—	—	—					
		民間移管	—	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—	—					
		代替サービス	—	—	—	—					
		統廃合	—	—	—	—					
		複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—						
民活導入	—										

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	30,894	32,629	32,178	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			

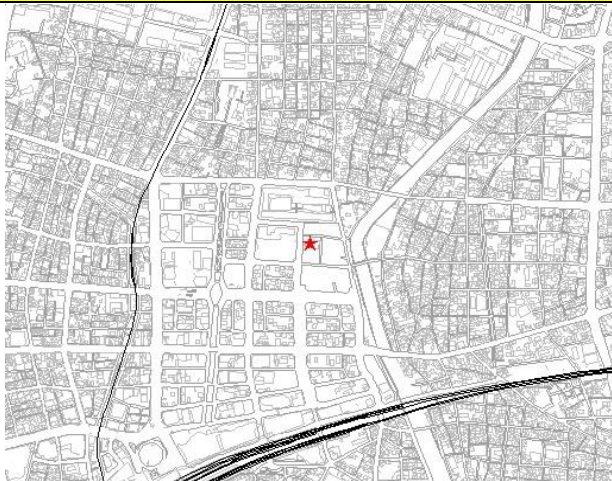
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—										
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。										

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。						

リストNo		26-002	施設コード		40002	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		中ポンプ場				
所在(町名・番地)		中央区中央二丁目3-1				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～				
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	1,448.70		土地情報	土地面積	4,068.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	4,068.00
	地上階数(主要建物)	3				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1966/11/1				
	経過年数(主要建物)	57			代表地目(現況地目)	—
用途地域		近隣商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	234	0	0
	収入計（A）	234	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	41,687	41,687	41,687
	維持補修費（修繕費）	0	0	10,392
	物件費（光熱水費）	69	78	68
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	41,756	41,765	52,147
	行政コスト（B－A）	41,522	41,765	52,147
収支前年比		99.42	80.09	132.73
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	令和3年度 公共下水道事業 修繕第3号 中ポンプ機交換修繕屋上防水改修工事	10,392			
	2021	令和3年度 公共下水道事業 改良第1号 中ポンプ機保安電設備改良工事	4,950			
	2007	耐震補強工事	61,917			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	26-036	木戸雨水ポンプ場	—	0.6		
	26-003	北ポンプ場	—	0.9		
	26-006	東雨水ポンプ場	—	1.6		
	26-005	南ポンプ場	—	1.6		
その他の分類	15-023	東小学校	生活	0.1		
	14-030	浜松第2分団	コミュニティ	0.2		
	01-005	地域情報センター	市域	0.4		
	19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.4		
	11-003	子育て情報センター	市域	0.4		
	08-009	なのはな保育園	生活	0.4		
	13-001	イーステージ浜松団地	地域	0.4		
	13-096	イーステージ浜松団地(特公賃)	地域	0.4		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-002	施設コード	40002	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	中ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。							
		主な業務内容	雨水排水及び汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。								
	特記事項 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①				2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②				2023	—	—	—
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④					2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	28,662	28,829	35,996	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
----------------------	--	--	--	-------------------	--	--	--

(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

(縦軸)前年収支比、市負担額(1㎡あたり等)による評価

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

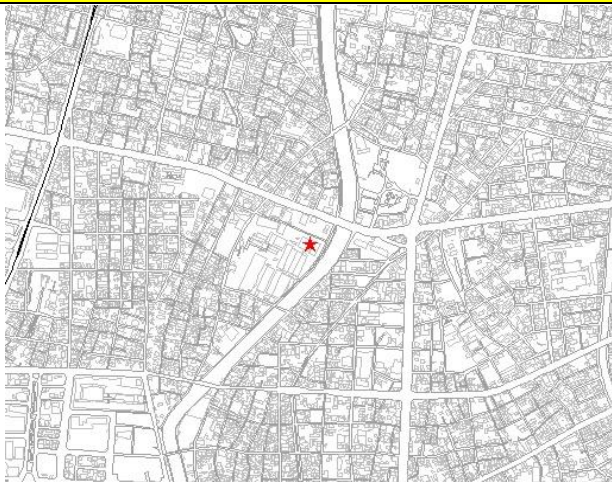
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。						

リストNo		26-003	施設コード	40003	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		北ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区船越町28-8			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	3,436.70	土地情報	土地面積	5,351.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,351.00
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-			
	建築年月日(主要建物)	1972/5/1			
	経過年数(主要建物)	51		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)	-		
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	40,352	41,985	40,352
	維持補修費（修繕費）	33,000	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	73,352	41,985	40,352
行政コスト（B－A）		73,352	41,985	40,352
収支前年比		174.71	104.05	106.29
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	3号汚水ポンプ修繕工事	33,000			
	2019	令和元年度 公営下水道事業 修繕第7号 北ポンプ場天台エレベーター修繕工事	7,193			
	2019	令和元年度 公営下水道事業 修繕第1号 北ポンプ場排水路付付修繕工事	5,200			
	2017	平成29年度 公営下水道事業 修繕第3号 北ポンプ場排水路付付修繕工事	21,577			
	2007	耐震補強工事	150,150			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	26-002	中ポンプ場	—	0.9		
	26-036	木戸雨水ポンプ場	—	1.1		
その他の分類	15-005	船越小学校	生活	0.3		
	07-008	さとう放課後児童会	生活	0.3		
	15-003	佐藤小学校	生活	0.3		
	07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.3		
	07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.4		
	03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	0.4		
	24-002	茄子揚水機場	—	0.4		
	15-106	八幡中学校	生活	0.5		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-003	施設コード	40003	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	北ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。							
		主な業務内容	雨水排水及び汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。								
	特記事項 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①				2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②				2023	—	—	—
						2022	—	—	—
			2021	—	—	—			
事業③					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	21,344	12,217	11,741	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。							

リストNo		26-004	施設コード	40004	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		西ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区西伊場町52-10			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		西ポンプ場に流入してくる汚水を中部浄化センターへ送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	1,062.81	土地情報	土地面積	1,635.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	1,635.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1975/5/1			
	経過年数(主要建物)	48		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		—	
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	27	36	135
	収入計(A)	27	36	135
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,258	1,258	1,858
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,258	1,258	1,858
行政コスト(B－A)		1,231	1,222	1,723
収支前年比		100.74	70.92	151.41
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	しざ破砕機改良工事	30,250			
	2016	屋上防水工事	9,890			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	26-007	御前谷ポンプ場	—	1.5		
その他の分類	06-003	西図書館	地域	0.0		
	04-061	伊場遺跡	文化財	0.8		
	15-014	鴨江小学校	生活	0.8		
	07-004	かものこ放課後児童会	生活	0.8		
	03-049	可美協働センター	生活	1.0		
	08-005	佐鳴台保育園	生活	1.0		
	15-016	佐鳴台小学校	生活	1.0		
	14-063	浜松第41分団	コミュニティ	1.0		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	26-004	施設コード	40004	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	西ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		西ポンプ場に流入してくる汚水を中部浄化センターへ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。					
	特記事項		施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,158	1,150	1,621	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分館毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-005	施設コード		40005
利用用途別分類（施設分類）		下水道・農業集落排水			
施設名		南ポンプ場			
所在（町名・番地）		中央区龍禅寺町863			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産		公用財産	
所管課		本庁		課長名	
		施設		鈴木 克巳	
設置根拠（法）		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		中部処理区から流入する汚水を中部浄化センターへ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		（株）ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	2,177.27	土地情報	土地面積	3,395.00
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,395.00
	地上階数（主要建物）	2			
	耐震性能（Is値）（主要建物）	—			
	耐震工事（主要建物）	—			
	建築年月日（主要建物）	1966/10/1			
	経過年数（主要建物）	57		うち借地面積	0.00
用途地域		近隣商業地域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）		計
設置事業費		—	—		—
財源	国・県	—	—		—
	寄付金	—	—		—
	その他	—	—		—
	市債	—	—		—
	一般財源	—	—		—
特記事項	—				



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	13	16
	収入計(A)	13	16
支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	40,381	40,381
	維持補修費(修繕費)	0	54
	物件費(光熱水費)	56	59
	物件費(借地料)	0	0
行政コスト(B-A)	支出計(B)	40,437	40,494
	行政コスト(B-A)	40,424	40,478
	収支前年比	99.87	100.14
	(参考)指定管理料	0	0
	(参考)減価償却費	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	令和2年度 公共下水道事業 修繕第1号 南ポンプ場天井クレーン修繕工事	3,300			
	2019	沈砂池棟屋上防水改修工事	4,780			
	2015	屋上防水工事	11,534			
	2000	耐震補強工事	84,420			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
	26-006	東雨水ポンプ場		—		0.7
	26-036	木戸雨水ポンプ場		—		1.3
	26-001	中部浄化センター		—		1.4
	26-002	中ポンプ場		—		1.6
その他の分類	08-008	南保育園		生活		0.2
	03-029	南部協働センター		生活		0.3
	06-004	南図書館		地域		0.3
	15-105	南部中学校		生活		0.4
	15-007	双葉小学校		生活		0.5
	07-013	こだま放課後児童会		生活		0.5
	08-006	寺島保育園		生活		0.6
	15-009	竜禅寺小学校		生活		0.6
施設周辺地図情報						

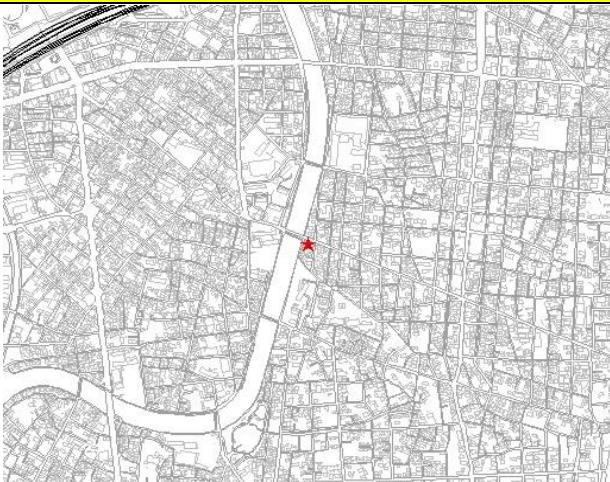
基本情報	リストNo	26-005	施設コード	40005	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	南ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		中部処理区から流入する汚水を中部浄化センターへ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。							
		主な業務内容	雨水排水及び汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。						
	特記事項		施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	18,566	18,591	18,566	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。							

リストNo		26-006		施設コード		40006	
利利用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水					
施設名		東雨水ポンプ場					
所在(町名・番地)		中央区中島四丁目1-5					
利用者の圏域別分類等		—			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設	
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課			課長名	松本 弘	
	施設	上下水道部下水道工事課			課長名	松本 弘	
設置根拠(法)		都市計画法、下水道法、地方公営企業法					
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
主な利用者		—					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	748.00		土地情報	土地面積		1,383.32
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積		1,383.32
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	1968/8/1					
	経過年数(主要建物)	55			代表地目(現況地目)		官公庁用地
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	80	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	3,531	1,807
	物件費（光熱水費）	2,195	2,382	1,876
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	2,275	5,913	3,683
行政コスト（B－A）		2,275	5,913	3,683
収支前年比		38.47	160.55	93.41
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	雨水ポンプ改築工事	110,160	2013	雨水ポンプ設備改築工事	66,150
	2016	雨水ポンプ改築工事	146,542	2013	電気設備改築工事	13,850
	2015	沈砂池設備改築工事	216,000			
	2014	自家発電設備設置工事	73,283			
	2014	雨水ポンプ改築工事	129,168			
	2013	電気棟建築工事	59,590			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-005	南ポンプ場	—		0.7	
	26-036	木戸雨水ポンプ場	—		1.0	
	26-002	中ポンプ場	—		1.6	
	26-001	中部浄化センター	—		1.8	
	26-037	参野雨水ポンプ場	—		1.9	
その他の分類	15-009	竜禪寺小学校	生活		0.2	
	08-006	寺島保育園	生活		0.3	
	01-011	中央土木整備事務所	地域		0.4	
	15-105	南部中学校	生活		0.7	
	14-033	浜松第5分団	コミュニティ		0.7	
	15-022	相生小学校	生活		0.8	
	08-008	南保育園	生活		0.9	
	04-008	浜松科学館	市域		0.9	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-006	施設コード	40006	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課		
	施設名	東雨水ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道工事課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。							
		主な業務内容	降雨時における内水排除						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中で適切に維持更新する必要がある。							
		施設の適正な維持管理を実施する。 ストックマネジメント計画に基づき、予防保全型の維持管理と効率的な改築を実施する。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
	民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,041	7,905	4,924	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		26-007	施設コード	40007	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		御前谷ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区佐鳴台六丁目6-1			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		御前谷ポンプ場へ流入してくる汚水を西ポンプ場へ送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	588.01	土地情報	土地面積	1,200.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	1,200.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-			
	建築年月日(主要建物)	1975/6/1			
	経過年数(主要建物)	48		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		-	
用途地域		第一種低層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	1,290	1,290	1,290
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,290	1,290	1,290
行政コスト（B－A）		1,290	1,290	1,290
収支前年比		100.00	100.00	106.26
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-004	西ポンプ場	—		1.5	
その他の分類	07-009	さなる放課後児童会	生活		0.5	
	15-016	佐鳴台小学校	生活		0.5	
	08-005	佐鳴台保育園	生活		0.5	
	15-099	佐鳴台中学校	生活		0.5	
	03-026	佐鳴台協働センター	生活		0.6	
	16-001	看護専門学校	市域		0.7	
	04-034	蜷塚遺跡	文化財		0.9	
04-035	旧高山家	文化財		0.9		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-007	施設コード	40007	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	御前谷ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		御前谷ポンプ場へ流入してくる汚水を西ポンプ場へ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,194	2,194	2,194	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分層毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-008	施設コード	40008	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		上島雨水ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区上島三丁目16-1			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		上島雨水ポンプ場に流入する雨水を馬込川へ放流し市内の冠水を防ぐ。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	1,821.59	土地情報	土地面積	3,316.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,316.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1988/4/1			
	経過年数(主要建物)	36		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		—	
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計（A）	1	1	1
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	25,512	25,512	27,519
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	25,512	25,512	27,519
行政コスト（B－A）		25,511	25,511	27,518
収支前年比		100.00	92.71	74.03
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	07-003	かみじま放課後児童会	生活		0.8	
	15-017	上島小学校	生活		0.8	
	11-010	家内労働福祉センター	地域		0.9	
	14-035	浜松第9分団	コミュニティ		1.2	
	15-101	曳馬中学校	生活		1.2	
	03-085	小池会館	コミュニティ		1.4	
	17-001	四ツ池公園	地域		1.5	
	03-030	曳馬協働センター	生活		1.5	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	26-008	施設コード	40008	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	上島雨水ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の 要 当 性	設置目的(再掲)							
		上島雨水ポンプ場に流入する雨水を馬込川へ放流し市内の冠水を防ぐ。							
		主な業務内容	雨水排水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。						
	特記事項		施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①				2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②				2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④					2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	ポンプ場建設時より30年以上たっており、施設全体が老朽化している。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	14,005	14,005	15,107	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸) 前年収支比・市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—					
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。					

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。						

リストNo		26-009	施設コード	40009	
利用用途別分類（施設分類）		下水道・農業集落排水			
施設名		西ヶ崎中継ポンプ場			
所在（町名・番地）		中央区雄踏町宇布見8995-3			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠（法）		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		西ヶ崎中継ポンプ場に流入してくる汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または 包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		（株）ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	121.59	土地情報	土地面積	126.00
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	126.00
	地上階数（主要建物）	1			
	耐震性能（Is値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	－		うち借地面積	0.00
	建築年月日（主要建物）	1994/4/1			
	経過年数（主要建物）	30		代表地目（現況地目）	－
用途地域		第二種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	0
	収入計(A)	1	1	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,357	1,357	1,666
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,357	1,357	1,666
行政コスト(B-A)		1,356	1,356	1,666
収支前年比		100.00	81.39	135.56
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	2号汚水ポンプ取替改良工事	7,447			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-057	浜松第46分団	コミュニティ	0.5
	14-055	浜松第45分団	コミュニティ	0.5
	06-009	雄踏図書館	地域	0.7
	07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.7
	15-047	雄踏小学校	生活	0.7
	05-009	雄踏総合体育館	地域	0.7
	08-038	雄踏幼稚園	生活	0.8
	03-011	雄踏文化センター	地域	0.8



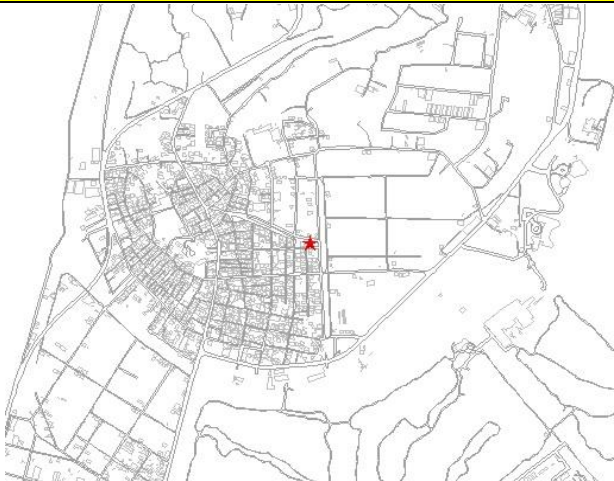
基本情報	リストNo	26-009	施設コード	40009	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	西ヶ崎中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		西ヶ崎中継ポンプ場に流入してくる汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	11,152	11,152	13,702	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-010	施設コード	40010	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		村櫛中継ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区村櫛町3805-3			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		村櫛中継ポンプ場に流入してくる汚水を館山寺浄化センターへ送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～			
管理者名		水KingAM(株)			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	93.75	土地情報	土地面積	130.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	130.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1992/5/1			
	経過年数(主要建物)	31		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		雑種地	
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	6,920	6,920	6,920
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	6,920	6,920	6,920
行政コスト(B－A)		6,920	6,920	6,920
収支前年比		100.00	100.00	73.70
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-040	村櫛小学校	生活		0.4	
	03-094	村櫛会館	コミュニティ		0.4	
	14-053	浜松第40分団	コミュニティ		0.5	
	08-035	村櫛幼稚園	生活		0.5	
	24-021	和田排水機場	—		1.4	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-010	施設コード	40010	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	村櫛中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		村櫛中継ポンプ場に流入してくる汚水を館山寺浄化センターへ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設後27年が経過し、改修が必要である。							
	対応策	H30年度に設備改築の実施設計を行った。 R1、R2年度で改築工事を実施中である。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	73,813	73,813	73,813	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-011	施設コード	40011			
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水					
施設名		湖東中継ポンプ場					
所在(町名・番地)		中央区湖東町1100					
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産			
				—			
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳	
設置根拠(法)		地方公営企業法					
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的		湖東中継ポンプ場に流入してくる汚水を西遠浄化センターへ送水する。					
主な利用者		—					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～					
管理者名		水KingAM(株)					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	3,035.60		土地情報	土地面積	12,293.38	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	12,293.38	
	地上階数(主要建物)	2					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			うち借地面積	0.00	
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	1982/9/1			代表地目(現況地目)		雑種地
	経過年数(主要建物)	41					
	用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	43	2	2
	収入計(A)	43	2	2
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	32,047	30,532	30,532
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	32,047	30,532	30,532
行政コスト(BーA)		32,004	30,530	30,530
収支前年比		104.83	100.00	76.08
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	26-035	和地中継ポンプ場	—	0.9		
その他の分類	13-039	湖東団地	地域	0.2		
	03-089	湖東西会館	コミュニティ	0.4		
	07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.6		
	03-040	和地協働センター	生活	0.6		
	15-048	和地小学校	生活	0.7		
	14-050	浜松第37分団	コミュニティ	0.7		
	15-119	湖東中学校	生活	0.8		
	08-040	和地幼稚園	生活	0.8		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	26-011	施設コード	40011	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	湖東中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		湖東中継ポンプ場に流入してくる汚水を西遠浄化センターへ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後37年が経過し、将来的に改修が必要である。							
	対応策	R5.10ポンプ場化							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	○	—	—	R5.10ポンプ場化による西遠処理区への統合。			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	10,543	10,057	10,057	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-012	施設コード		40012	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		館山寺浄化センター				
所在(町名・番地)		中央区庄内町14-7				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		館山寺処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～				
管理者名		水ingAM(株)				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	2,916.72		土地情報	土地面積	28,491.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	28,491.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1987/7/1				
	経過年数(主要建物)	36			代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計（A）	1	1	1
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	70,128	70,128	70,128
	維持補修費（修繕費）	0	0	6,270
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	70,128	70,128	76,398
行政コスト（B－A）		70,127	70,127	76,397
収支前年比		100.00	91.79	59.69
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	汚泥貯留槽水中攪拌機更新工事	6,565			
	2021	令和3年度 庄内下水道事業 施設維持費 館山中央化センター・庄内水質分析調整工事	6,270			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別	距離(km)	
その他の分類	03-041	庄内協働センター		生活	0.1	
	14-014	西消防署庄内出張所		地域	0.2	
	15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)		生活	0.3	
	07-038	庄内学園放課後児童会		生活	0.3	
	04-019	館山寺ターミナル事務所		地域	1.1	
	04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場		小規模等	1.4	
	18-064	旧北庄内小学校		地域	1.8	
14-052	浜松第39分団		コミュニティ	1.9		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-012	施設コード	40012	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	館山寺浄化センター			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		館山寺処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。							
		主な業務内容	汚水処理						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後32年が経過し、将来的に改修が必要である。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	24,043	24,043	26,193	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-013	施設コード		40013
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		瞳ヶ丘中継ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区古人見町1538-84			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		瞳ヶ丘中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	816.00	土地情報	土地面積	4,700.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	4,700.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1978/4/1			
	経過年数(主要建物)	46			
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



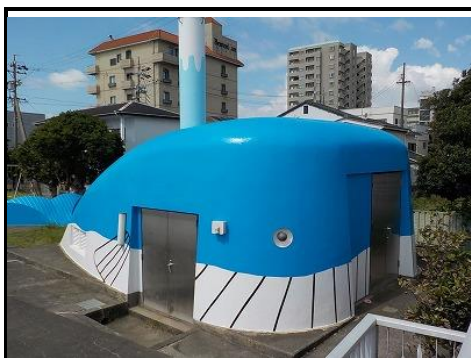
項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計（A）	1	1	1
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	2,300	2,062	2,083
	維持補修費（修繕費）	0	0	10,780
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	2,300	2,062	12,863
行政コスト（B－A）		2,299	2,061	12,862
収支前年比		111.55	16.02	581.73
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な改修履歴	2021	令和3年度 佐賀市下水道事業 篠崎第1号 埋め立て調整池の整備(排水ポンプ設備設置工事)	10,780			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別	距離(km)	
その他の分類	13-035	瞳ヶ丘団地		地域	0.3	
	24-011	佐浜第2排水機場		—	0.9	
	24-010	佐浜第1排水機場		—	1.2	
	03-090	佐浜会館		コミュニティ	1.2	
	06-010	はまゆう図書館		地域	1.5	
	24-009	古人見排水機場		—	1.6	
	07-036	伊佐見放課後児童会		生活	1.8	
	14-049	浜松第36分団		コミュニティ	1.8	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-013	施設コード	40013	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	瞳ヶ丘中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		瞳ヶ丘中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	—						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,817	2,526	15,762	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo		26-014	施設コード		40014	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		弁天島中継ポンプ場				
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島2669-199				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		弁天島中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場へ送水する。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～				
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	45.00		土地情報	土地面積	250.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	250.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1				
	経過年数(主要建物)	34			代表地目(現況地目)	—
用途地域		商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計(A)	1	1	1
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,325	1,325	1,325
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,325	1,325	1,325
行政コスト(B-A)		1,324	1,324	1,324
収支前年比		100.00	100.00	110.43
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	26-015	蓬莱園中継ポンプ場	—	0.4		
	26-016	観月園中継ポンプ場	—	1.1		
その他の分類	01-015	舞阪支所	地域	0.2		
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.4		
	14-054	浜松第43分団	コミュニティ	0.4		
	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.4		
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.5		
	13-036	蓬莱園団地	地域	0.5		
	04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	0.5		
	12-007	水産物荷捌所	小規模等	0.5		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-014	施設コード	40014	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	弁天島中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		弁天島中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場へ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	29,422	29,422	29,422	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-015	施設コード		40015	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		蓬萊園中継ポンプ場				
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島2730-2				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		蓬萊園中継ポンプ場に流入する汚水を弁天島汚水中継ポンプ場へ送水する。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または 包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～				
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	65.00		土地情報	土地面積	368.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	368.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1				
	経過年数(主要建物)	34			代表地目(現況地目)	—
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	1,325	1,325	1,714
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,325	1,325	1,714
行政コスト（B－A）		1,325	1,325	1,714
収支前年比		100.00	77.30	142.95
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-014	弁天島中継ポンプ場	—		0.4	
	26-016	観月園中継ポンプ場	—		0.7	
そ の 他 の 分 類	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域		0.2	
	13-036	蓬莱園団地	地域		0.2	
	08-015	舞阪第1保育園	生活		0.2	
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ		0.3	
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等		0.3	
	01-015	舞阪支所	地域		0.5	
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域		0.6	
	04-017	渚園	地域		0.7	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	26-015	施設コード	40015	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	蓬萊園中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		蓬萊園中継ポンプ場に流入する汚水を弁天島汚水中継ポンプ場へ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており、今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	20,385	20,385	26,369	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-016	施設コード	40016	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		観月園中継ポンプ場			
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島3257-1			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		観月園中継ポンプに流入する汚水を蓬萊園中継ポンプ場へ送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2019/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	58.00	土地情報	土地面積	252.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	252.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1			
	経過年数(主要建物)	34		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		—	
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	1,325	1,325	1,325
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,325	1,325	1,325
行政コスト（B－A）		1,325	1,325	1,325
収支前年比		100.00	100.00	97.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	26-015	蓬莱園中継ポンプ場	—	0.7
	26-014	弁天島中継ポンプ場	—	1.1

その他の分類	04-017	渚園	地域	0.5
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.5
	08-015	舞阪第1保育園	生活	0.5
	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.6
	13-036	蓬莱園団地	地域	0.7
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.7
	01-015	舞阪支所	地域	1.2
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	1.4

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	26-016	施設コード	40016	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	観月園中継ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		観月園中継ポンプに流入する汚水を蓬萊園中継ポンプ場へ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	○	—	—	マンホールポンプ化が計画されている			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	22,845	22,845	22,845	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。							

リストNo		26-017		施設コード		40017		
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水						
施設名		細江浄化センター						
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀4934-1						
利用者の圏域別分類等		—			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産		—		
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳		
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳		
設置根拠(法)		地方公営企業法						
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例						
設置目的		細江処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。						
主な利用者		—						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～						
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	4,048.82		土地情報	土地面積	13,779.53		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	13,779.53		
	地上階数(主要建物)	3				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(15値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	—						
	建築年月日(主要建物)	1999/4/1						
	経過年数(主要建物)	25				代表地目(現況地目)	—	
	用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	33,222	33,222	33,222
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	33,222	33,222	33,222
行政コスト(BーA)		33,222	33,222	33,222
収支前年比		100.00	100.00	96.05
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	B S 情報	有形固定資産(千円)		
土地		建物		その他
0		0		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	No.3汚水ポンプ更新工事	9,350			
	2015	耐震補強工事	33,484			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-021	山後雨水ポンプ場	—		0.7	
その他の分類	24-039	沖通り排水機場	—		1.0	
	15-058	伊目小学校	生活		1.0	
	07-048	伊目放課後児童会	生活		1.0	
	08-047	伊目幼稚園	生活		1.0	
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域		1.1	
	04-024	気賀関所	地域		1.2	
	10-014	細江介護予防センター	地域		1.2	
01-017	北行政センター	地域		1.2		
施設周辺地図情報						
						

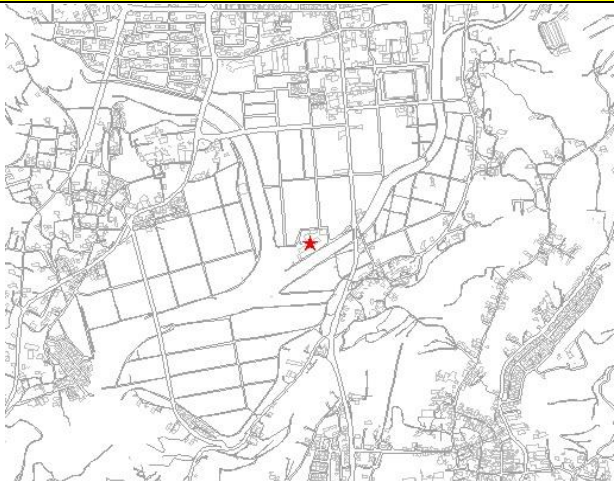
基本情報	リストNo	26-017	施設コード	40017	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	細江浄化センター			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		細江処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後20年経過しており、施設全体が老朽化している。機械設備の耐用年数が経過した物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	8,205	8,205	8,205	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-018	施設コード		40018	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		井伊谷浄化センター				
所在(町名・番地)		浜名区引佐町井伊谷2440-1				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		井伊谷処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～				
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	3,638.55		土地情報	土地面積	9,353.71
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	9,353.71
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1996/4/1				
	経過年数(主要建物)	28			代表地目(現況地目)	—
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	33,222	33,222	33,222
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	33,222	33,222	33,222
行政コスト（B－A）		33,222	33,222	33,222
収支前年比		100.00	100.00	78.36
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	耐震補強工事	7,350			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-020	金指汚水中継ポンプ場	—		1.0	
その他の分類	13-052	坂田団地	地域		0.4	
	13-060	井伊谷団地	地域		0.4	
	25-013	谷津ポンプ場	—		0.5	
	07-052	井伊谷放課後児童会	生活		0.6	
	08-048	引佐幼稚園	生活		0.6	
	15-060	金指小学校	生活		0.7	
	15-066	井伊谷小学校	生活		0.7	
	08-019	引佐保育園	生活		0.8	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-018	施設コード	40018	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	井伊谷浄化センター			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		井伊谷処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。							
		主な業務内容	污水处理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
		事業②	—		2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後23年経過しており、施設全体が老朽化している。機械設備の耐用年数が経過した物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	9,131	9,131	9,131	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分層毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。							

リストNo		26-019	施設コード		40019	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		三ヶ日浄化センター				
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町宇志1320-11				
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課			課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		三ヶ日処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～				
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	1,920.18		土地情報	土地面積	25,573.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	25,573.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2006/4/1				
	経過年数(主要建物)	18				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,858	1,906	1,943
	収入計（A）	1,858	1,906	1,943
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	27,804	27,804	27,804
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	27,804	27,804	27,804
行政コスト（B－A）		25,946	25,898	25,861
収支前年比		100.19	100.14	83.78
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	BS情報	有形固定資産(千円)		
土地		建物	その他	
0		0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-130	三ヶ日中学校	生活		0.2	
	05-042	三ヶ日運動場管理棟、トイレ	小規模等		0.2	
	18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域		0.3	
	01-018	三ヶ日支所	地域		0.4	
	03-013	三ヶ日文化ホール	地域		0.4	
	14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域		0.4	
	14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ		0.7	
08-020	三ヶ日保育園	生活		0.8		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-019	施設コード	40019	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	ミヶ日浄化センター			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		ミヶ日処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項	供用開始から10年経過し毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後13年経過しており、施設全体が老朽化しつつある。機械設備の故障が今後多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	13,512	13,487	13,468	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo		26-020	施設コード	40020	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水			
施設名		金指汚水中継ポンプ場			
所在(町名・番地)		浜名区引佐町金指1510-2			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課		課長名	鈴木 克巳
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		金指汚水中継ポンプ場に流入してくる汚水を井伊谷浄化センターへ送水する。			
主な利用者		—			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2018/04/01 ～			
管理者名		(株)ウォーターエージェンシー			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	34.79	土地情報	土地面積	700.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	700.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2000/4/1			
	経過年数(主要建物)	24		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		—	
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計（A）	1	1	1
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	1,606	792	792
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,606	792	792
行政コスト（B－A）		1,605	791	791
収支前年比		202.91	100.00	99.87
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	26-018	井伊谷浄化センター	—	1.0

その他の分類	25-005	金指西水源	—	0.3
	15-060	金指小学校	生活	0.5
	07-054	金指放課後児童会	生活	0.5
	13-049	金指団地	地域	0.5
	13-052	坂田団地	地域	0.7
	05-040	細江総合グラウンド器具庫	小規模等	0.8
	14-019	北消防署	地域	0.8
	08-058	金指幼稚園	生活	0.8

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	26-020	施設コード	40020	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	金指汚水中継ポンプ場			所管課	施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		金指汚水中継ポンプ場に流入してくる汚水を井伊谷浄化センターへ送水する。							
		主な業務内容	汚水の送水						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より20年以上たっており、施設全体が老朽化しつつある。機械設備の故障が今後多くなると予想される。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	46,134	22,736	22,736	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo	26-021		施設コード	40021		
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水					
施設名	山後雨水ポンプ場					
所在(町名・番地)	浜名区細江町気賀1580-1					
利用者の圏域別分類等	—		非中山間地域			
財産区分	行政財産		公用財産		その他施設	
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課		課長名	松本 弘	
	施設	上下水道部下水道工事課		課長名	松本 弘	
設置根拠(法)		都市計画法、下水道法、地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	502.59		土地情報	土地面積	2,799.53
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	2,799.53
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2009/4/1				
	経過年数(主要建物)	15			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		第二種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		
財源	国・県	—		—		
	寄付金	—		—		
	その他	—		—		
	市債	—		—		
	一般財源	—		—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	80	0	0
	維持補修費（修繕費）	946	948	5,997
	物件費（光熱水費）	1,035	912	1,594
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	2,061	1,860	7,591
行政コスト（B－A）		2,061	1,860	7,591
収支前年比		110.81	24.50	143.50
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物		その他
	0	0		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	26-017	細江浄化センター	—	0.7		
その他の分類	08-053	中央幼稚園	生活	0.6		
	01-017	北行政センター	地域	0.6		
	09-006	細江健康センター	地域	0.6		
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.6		
	04-024	気賀関所	地域	0.6		
	03-012	みをつくし文化センター	地域	0.6		
	06-015	細江図書館	地域	0.6		
	10-014	細江介護予防センター	地域	0.7		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-021	施設コード	40021	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課		
	施設名	山後雨水ポンプ場			施設	上下水道部下水道工事課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。							
		主な業務内容	降雨時における内水排除						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	関連部署と連携した総合的な浸水対策を実施する。							
	対応策	土木部と連携し、施設の適正な維持管理、修繕を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	4,101	3,701	15,104	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo	26-022	施設コード	40022
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	気田浄化センター		
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1383-4		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	気田処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と気田川の水質環境の保全を図る。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	740.00	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2000/4/1	
	経過年数(主要建物)	24	
用途地域		都市計画区域外	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
特記事項	一般財源	—	—
	—		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	22,629	22,624
	維持補修費(修繕費)	18,348	4,122
	物件費(光熱水費)	0	0
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	40,977	26,746
行政コスト(B-A)		40,977	26,746
収支前年比		153.21	83.47
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	曝気装置用減速機(2-2号機)修繕工事	7,810	2018	曝気装置用減速機(1-2号機)修繕工事	6,912
2022	最終沈殿池汚泥掻き機駆動装置修繕工事	4,378	2017	遠心脱水機制御シーケンサ修繕工事	6,458
2022	汚泥濃縮槽攪拌機修繕工事	3,630	2016	インテリジェントプリンター修繕	3,780
2021	曝気装置用減速機(2-1号機)修繕工事	7,172			
2019	最終沈殿池汚泥掻き機駆動装置修繕工事	3,520			
2019	曝気装置用減速機(1-1号機)修繕工事	6,600			
近隣施設					
主な改修履歴	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
同分類	21-007	春野斎場	地域	0.3	
	14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.4	
	04-029	白井鐵道記念館	地域	0.6	
	03-017	春野文化センター	地域	0.6	
	04-054	天狗下駄展示場	小規模等	0.6	
	14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	0.6	
	01-025	春野支所	地域	0.6	
	10-019	春野福祉センター	地域	0.8	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	26-022	施設コード	40022	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	気田浄化センター			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		気田処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と気田川の水質環境の保全を図る。								
		主な業務内容	汚水処理等							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	地域人口の減少								
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—				2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
		事業②	—				2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
				2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	中山間地であることから、過疎化が進み高齢化世帯が増加していることから下水道への接続が鈍化し、下水道使用量が少なくなっている。今後、機械設備が老朽化し修繕や更新が必要となる。								
	対応策	計画的な更新計画を策定し、今後更新を進めていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	—									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	55,374	36,143	43,303	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価					縦軸 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める						

リストNo		26-023	施設コード		40023	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水				
施設名		浦川浄化センター				
所在(町名・番地)		天竜区佐久間町浦川3453				
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産		—	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介	
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		浦川処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と大千瀬川の水質環境の保全を図る。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2021/04/01 ～				
管理者名		西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	259.00	土地情報	土地面積	3,463.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,463.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1996/4/12				
	経過年数(主要建物)	28				
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	19,453	19,449	19,547
	維持補修費(修繕費)	9,350	7,407	9,650
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	28,803	26,856	29,197
	行政コスト(B-A)	28,803	26,856	29,197
収支前年比		107.25	91.98	105.27
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	有形固定資産(千円)			
BS情報	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	No.2-2曝気攪拌装置修繕工事	3,520			
	2022	No.1-2曝気攪拌装置修繕工事	3,047			
	2021	浦川浄化センター No.2-1曝気攪拌装置修繕工事	4,466			
	2020	浦川浄化センター No.1-1曝気攪拌装置修繕工事	4,560			
	2015	浦川浄化センター設備改築工事	37,584			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	26-027	上市場農業集落排水処理施設	—	1.1
その他の分類	15-085	浦川小学校	生活	0.4
	13-078	浦川団地	地域	0.6
	14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ	0.6
	22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活	0.6
	03-066	浦川ふれあいセンター	生活	0.7
	08-075	浦川幼稚園	生活	0.8
	05-031	佐久間瞑想館	地域	1.2



基本情報	リストNo	26-023	施設コード	40023	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	浦川浄化センター			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浦川処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と大千瀬川の水質環境の保全を図る。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項	長寿命化対策を実施している。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在長寿命化対策を実施しているが、長寿命化対象外設備については、計画的な更新が必要である。							
	対応策	長寿命化対策対象外設備について、計画的な更新を進める。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	111,208	103,691	112,730	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	26-024	施設コード	40024
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	佐久間浄化センター		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町半場278-20		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	佐久間処理区から流入する汚水进行处理して、地域住民の生活環境の改善と天竜川の水質環境の保全を図る。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	265.00	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2002/6/28	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域		都市計画区域外	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	19,339	19,336
	維持補修費(修繕費)	5,905	6,587
	物件費(光熱水費)	0	0
	物件費(借地利)	0	0
	支出計(B)	25,244	25,923
行政コスト(B-A)		25,244	25,923
収支前年比		97.38	106.52
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	No.1-2曝気攪拌装置修繕工事	3,465	2015	No.2-1曝気攪拌装置修繕工事	4,050
2022	No.1-1曝気攪拌装置修繕工事	4,037			
2021	佐久間浄化センター No.2-1曝気攪拌装置修繕工事	4,466			
2018	No.2-2曝気攪拌装置修繕工事	4,201			
2017	No.1-2曝気攪拌装置修繕工事	2,862			
2016	No.1-1曝気攪拌装置修繕工事	2,696			
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	13-086	半場団地	地域	0.2	
	15-092	佐久間小学校	生活	0.4	
	02-007	半場教職員住宅	地域	0.4	
	08-080	佐久間幼稚園	生活	0.4	
	03-105	佐久間支所体育館	地域	0.6	
	06-016	佐久間図書館	地域	0.6	
	14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	0.7	
	03-103	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター	地域	0.8	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	26-024	施設コード	40024	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	佐久間浄化センター			施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		佐久間処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と天竜川の水質環境の保全を図る。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後快適な生活を続けていくには必要不可欠である。								
	特記事項 設備の経年劣化が進行しているため、毎日の点検が重要となる。								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
2021						—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	設備の経年劣化が進行しているため、計画的な更新・オーバーホールが必要である。							
	対応策	運転時間による設備ごとの劣化状況を踏まえ、更新・オーバーホールを計画的に進める。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	95,260	97,823	91,838	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—					
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きょ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。					

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める						

リストNo		26-025		施設コード		40025	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水					
施設名		城西浄化センター					
所在(町名・番地)		天竜区佐久間町相月2227-2					
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産		—	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介	
設置根拠(法)		地方公営企業法					
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的		城西処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と水窪川の水質環境の保全を図る。					
主な利用者		—					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2021/04/01 ～					
管理者名		西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	710.79		土地情報	土地面積		4,026.98
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積		4,026.98
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2008/4/1					
	経過年数(主要建物)	16			代表地目(現況地目)		宅地
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	31,506	31,500	31,659
	維持補修費(修繕費)	4,458	3,626	4,651
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	35,964	35,126	36,310
行政コスト(BーA)		35,964	35,126	36,310
収支前年比		102.39	96.74	107.13
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	25-037	旧相月簡易水道小相月ポンプ場	—		1.2	
	25-030	旧城西簡易水道	—		1.5	
	14-139	佐久間第2分団松島	コミュニティ		1.6	
	03-064	城西ふれあいセンター	生活		1.9	
	13-077	芋堀団地	地域		1.9	
施設周辺地図情報						

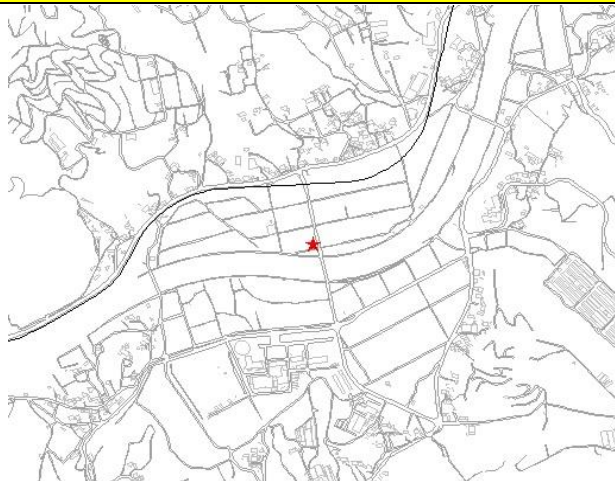
基本情報	リストNo	26-025	施設コード	40025	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	城西浄化センター			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		城西処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と水窪川の水質環境の保全を図る。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。							
	特記事項	膜が劣化しており、日頃の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	膜分離活性汚泥法を採用しているため、膜の劣化による処理水の水質低下が懸念される。							
	対応策	・年2回の膜洗浄による膜の機能回復・長寿化計画による膜の更新・機器のオーバーホールによる運転効率のアップ							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	50,597	49,418	51,084	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づき、施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo		26-026		施設コード		02042	
利用用途別分類(施設分類)		下水道・農業集落排水					
施設名		都田地区農業集落排水処理施設					
所在(町名・番地)		浜名区都田町7150-1					
利用者の圏域別分類等		—			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介	
設置根拠(法)		—					
条例		浜松市農業集落排水処理施設条例					
設置目的		都田地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と都田川の水質環境の保全を図る。					
主な利用者		—					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2021/04/01 ～					
管理者名		西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	255.00		土地情報	土地面積		1,927.15
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積		1,927.15
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(15値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積		0.00
	建築年月日(主要建物)	2000/1/6					
	経過年数(主要建物)	24					
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	9,368	10,469	10,223
	維持補修費(修繕費)	3,957	7,929	2,992
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	13,325	18,398	13,215
行政コスト(B-A)		13,325	18,398	13,215
収支前年比		72.43	139.22	111.89
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	1,139	1,139
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	No.2曝気攪拌装置修繕工事	6,886			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-034	都田中継ポンプ場	—		1.9	
その他の分類	24-032	吉影排水機場	—		0.5	
	24-031	一色排水機場	—		0.6	
	15-063	都田小学校	生活		1.2	
	03-051	都田協働センター	生活		1.4	
	14-066	浜松第31分団	コミュニティ		1.6	
	17-007	都田総合公園	地域		1.8	
	15-132	都田中学校	生活		1.9	
施設周辺地図情報						
						

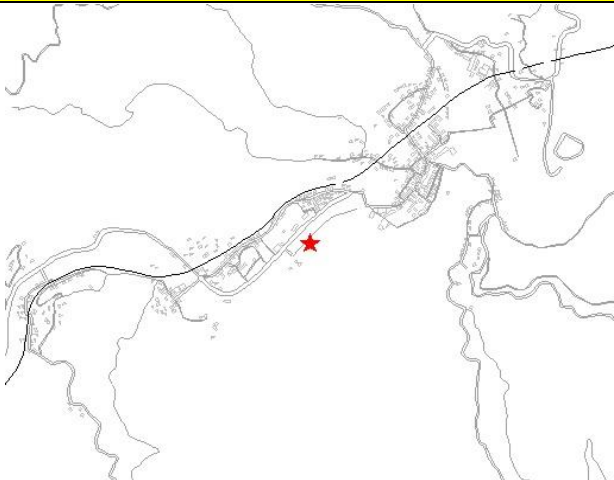
基本情報	リストNo	26-026	施設コード	02042	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	都田地区農業集落排水処理施設			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		都田地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と都田川の水質環境の保全を図る。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	農業集落排水処理施設は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の標準耐用年数を経過した物が多く経年劣化が進んでおり、今後施設の修理や更新が多くなると予想される。							
	対応策	施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を行い施設維持管理費の縮減を図る。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	52,255	72,149	51,824	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市農業集落排水施設最適整備構想に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		26-027	施設コード		02181	
利用用途別分類（施設分類）		下水道・農業集落排水				
施設名		上市場農業集落排水処理施設				
所在（町名・番地）		天竜区佐久間町浦川2322-2				
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
設置根拠（法）		—				
条例		浜松市農業集落排水処理施設条例				
設置目的		上市場地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と相川の水質環境の保全を図る。				
主な利用者		—				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または 包括管理委託等の期間		2021/04/01 ～				
管理者名		西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	107.00	土地情報	土地面積	1,041.00	
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00	
	地上階数（主要建物）	1				
	耐震性能（Is値）（主要建物）	新		うち借地面積	1,041.00	
	耐震工事（主要建物）	—				
	建築年月日（主要建物）	1994/8/1				
	経過年数（主要建物）	29		代表地目（現況地目）		
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		—	—		—	
財源	国・県	—	—		—	
	寄付金	—	—		—	
	その他	—	—		—	
	市債	—	—		—	
	一般財源	—	—		—	
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	4,647	5,042	4,917
	維持補修費(修繕費)	1,422	2,391	1,070
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	162	162	162
利用状況	支出計(B)	6,231	7,595	6,149
	行政コスト(B-A)	6,231	7,595	6,149
	収支前年比	82.04	123.52	96.85
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	0	426	426
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	26-023	浦川浄化センター	—		1.1	
その他の分類	05-031	佐久間瞑想館	地域		0.1	
	08-075	浦川幼稚園	生活		0.3	
	03-066	浦川ふれあいセンター	生活		0.4	
	13-078	浦川団地	地域		0.5	
	15-085	浦川小学校	生活		0.8	
	14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ		0.8	
	22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活		0.9	
	25-018	旧浦川簡易水道	—		1.3	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-027	施設コード	02181	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	上市場農業集落排水処理施設			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		上市場地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と相川の水質環境の保全を図る。							
		主な業務内容	汚水処理等						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	農業集落排水処理施設は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の標準耐用年数を経過した物が多く経年劣化が進んでおり、今後施設の修理や更新が多くなると予想される。							
	対応策	施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を行い施設維持管理費の縮減を図る。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	58,234	70,981	57,467	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市農業集落排水施設最適整備構想に基づき、適切な維持管理に努める								